

市民参加事業について (第1回総合計画審議会用資料)

1 市民参加事業について

【既に実施済みの事業】

	事業名	実施時期	概要
1	市民アンケート	平成29年10月	市民(3,000人)を無作為により抽出し、アンケートを実施
2	大学生アンケート	" 年10月	市と包括連携協定を締結している8大学の学生(1,500人程度)を対象に、アンケートを実施
3	中高生アンケート	平成30年 1月	若者ジュニア市政モニター(400人程度)の中高生を対象に、アンケートを実施
4	シンポジウム	" 年 7月27日	「未来のさがみはら」について市民とともに考える機会として、基調講演やパネルディスカッションを実施
5	市政を語る会 (働く若者)	" 年 8月 7日	「ずっと住みたくなるまちづくり」をテーマに、結婚、出産、住宅購入などの人生の転換期を迎える世代である「働く若者」と意見交換を実施
6	外国人市民との 意見交換会	" 年 8月10日	「誰もが住みやすいさがみはらとなるために」をテーマに外国人市民との意見交換を実施

【既に実施済みの事業】

	事業名	実施時期	概要
7	区民討議会	平成30年 8月18日、 19日	市民(4,000人)を無作為により抽出し、応募のあった者で(定員各区30人)2日間に渡り、まちづくり全般に関するワークショップを実施
8	まちづくり会議	" 年 5月~11月	各地区まちづくり会議において、地域別計画の進捗状況の確認をするとともに、各地区の課題と対応方策について検討する
9	市政を語る会 (子育て世代)	" 年10月24日	「安心して子どもを産み育てられるまちづくり」をテーマに、「未就学の児童を持つ親等」と意見交換
10	働く女性を応援する 企業との懇話会	" 年10月30日	女性がもっとかがやくまちを目指し、女性の活躍推進に積極的に取り組む企業との懇話会を開催する
11	大学生等による フィールドワーク	" 年 6月~11月	市内大学の大学生が主体となり、まちづくりに関する様々なテーマについて、関連する企業やNPO法人、施設等を訪問し、フィールドワーク(野外活動)を実施する

【既に実施済みの事業】

	事業名	実施時期	概要
12	オープンハウス	〃 年 2月～ 3月	市内各所において、パネル展示により市の現状や総合計画の概要などについて説明し、市民の方から直接意見を伺う

【既に実施済みの事業】（その他の取組）

	事業名	実施時期	概要
1	若手職員ワークショップ	平成30年 6月13日	採用2年目から6年目の職員を対象に、総合計画の概要、相模原市の現状について研修をした後、総合計画に関するワークショップを開催

【今後、実施予定の事業】

	事業名	実施時期	概要
1	シンポジウム	令和元年 8月 9日	基本構想やSDGsについて周知し、市政の意識の高揚を図るとともに、アンケートによるまちづくりへの意見を伺い、基本計画等に反映させる

2 実施報告

【オープンハウス】

開催日時

平成31年2月～3月

場所

アリオ橋本、相模大野駅、麻溝公園、淵野辺公園、市役所本館、緑区役所、津久井中央公民館、城山公民館、相模湖公民館、藤野中央公民館

目的

次期総合計画策定に当たり、市の現状や基本構想案の概要について周知を行い市民意識の醸成を図るとともに、基本計画において必要な取組や事業について、一般市民からの意見聴取を行なうことを目的とする。

参加者（意見数）

751名（件）

内容

- ・市の人口や財政の状況、総合計画の概要などについて記載したA1版のパネル12枚を各会場に展示。
- ・施設訪問者に対して、風船の配布や相模原市マスコットキャラクター「さがみん」の登場など、様々な世代に参加してもらう工夫を行いながら、呼びかけを実施。
- ・参加者に対して、パネル内容の補足説明を行ったうえで、基本計画に必要と思われる事業などについて、意見聴取を実施。

成果

- ・子育て世代や働き世代など、若い年齢層からも意見を聴取することができた。
- ・別の目的で各施設を訪問していた方にも参加を呼びかけ、意見を聴取する方法で実施したため、普段市政にあまり関心のない層からも意見を聴取することができた。